

目標達成計画

作成日：平成 28年 3月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【運営方針】利用者様にとっての保養所気分を生活支援の場へと転換できるケアを提供していく。 | | | | | |
|--|----------------------------------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 36 37 38 39 40 45 | その人らしい暮らしを続けるための日々の支援グループホームの玄関を入ると、これまでのその方の生活から一変していると思われる。利用者の多くの方が隠居生活ではなく、暮らしの営みがあったはずであるが、その日常生活業務を大半職員がやっつけてしまっているのではないかな？ | 利用者様自らが主体的に生活できる。 | ①自立支援のためには、職員一人一人が真に自立した存在になる。誰かがやってくれるだろうという甘えはなくし、仕事する。②利用者様個々のできることは、時間がかかってもご自分でしていただく。③掃除や調理、洗濯などは利用者が1日かかっているようにお互いの意識を変える。④おやつのお茶入れも利用者様がするようにし、月1回必ず評価をする。 | 12ヶ月 |
| 2 | 23 24 25 26 | その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメントにおいては、ケアプランを立てることができているが、さらにプランが利用者満足度の上がるものを目指す必要がある。 | 利用者様自らが主体的に生活できるために、より利用者様の意思を反映したプランを立案する。 | ①ケアプランの評価のときに、利用者様に積極的に意見をいただく。②サービス担当者会議が必要時に開催できるようにする。 | 12ヶ月 |
| 3 | 40 48 | 余暇活動やレクリエーションはメリハリがつかない。 | 生活の営みと余暇活動・レクリエーションとのメリハリをつける。 | ①年間のレク・行事の計画を立てる。 ②職員は「日常とレクのメリハリ」を意識してケアする。 ③個別リハビリができるように課題解決グループを再編成する。 ④口腔ケアはリハビリグループが推進する。 | 12ヶ月 |
| 4 | 34 | 救急法について受講ができていない職員もいる。2ヶ月～4ヶ月おきに防災訓練は実施している。 | 救急法の訓練を行い、実践力を身につける。 | ①定例の防災訓練に、救急法訓練を取り込む。 ②消防署に依頼して訓練を開催する。 | 12ヶ月 |
| 5 | | グループホーム開設から12年目を迎える。10年一昔のように時代とともに求められるニーズの変化に対応するため、施設運営理念から見直しをはかり、職員一人一人が『私が目指す介護』の実現を図ることが必要である。 | あおば運営理念の再構築を図る。 職員個々の『私が目指す介護』を掲げる。 | 運営理念を検討する機会を作り、職員一丸となってあおば運営理念を作る。 理念作成後に職員個々の『私の目指す介護』を掲げ、発表の場を設ける。 | 12ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。